

期日	時間	会場	対象地区
6/10 (水)	10時30分 ～11時30分	元木生活改善センター	元木
		ゆきわり荘	吉ヶ沢
	13時30分 ～14時30分	小屋瀬農村センター	小屋瀬
6/11 (木)	10時30分 ～11時30分	小田林業研修センター	小田、垂柳
		田野構造改善センター	前里、田部馬淵、正路、寺畑、触沢、上田野
	13時30分 ～14時30分	橋場生活改善センター	大沢、橋場、野中
6/12 (金)	10時30分 ～11時30分	五日市生活改善センター	山岸、五日市、栗山
		星野生活改善センター	星野、馬場
	13時30分 ～14時30分	冬部生活改善センター	下冬部、田屋、根地戸、市部内、境の沢、名前端、毛頭沢
6/15 (月)	10時～12時	江刈農村センター	泉田、小苗代、中村、寺田
		遠矢場林業研修センター	江刈馬淵、遠矢場、車門
6/15 (月)	10時～12時	総合センター	田代、平船、田子、城内小路、下町、新町、浦子内、茶屋場、四日市、江刈川、10日(水)～12日(金)に都合のつかない人

## 農家の皆さん 経営所得安定対策等交付金 交付申請の受付を行います

■ ① 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）は、認定農業者

■ ② 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）は、認定農業者などが対象となります。

■ 申請期限 6月15日(月)

※左記日程でご都合のつかない人は、申請期限までに農林環境エネルギー課へお越しください。

☎ 66・2111 内線145

■ ③ 農林環境エネルギー課

■ ④ 認定農業者

■ ⑤ 申請期限

■ ⑥ 申請期限

■ ⑦ 申請期限

■ ⑧ 申請期限

■ ⑨ 申請期限

■ ⑩ 申請期限



グリンデルワルトの酪農家を訪問



手作りのチーズ、サラミの試食販売も行ってた



グリンデルワルトの副村長を囲んで

## 町農業委員 スイス研修報告

酪農を中心とする農業振興をグローバルな視点でとらえ、農業委員が果たす役割を考察するため、町の農業委員ら11人が4月15日から4月22日までの日程で、スイスの農政や農業事情などを視察しました。参加者の一人、馬場正俊委員（馬場）の研修レポートを紹介します。

現地で酪農家2戸の視察、グリンデルワルトの副村長から話を伺い、次の点が強く印象に残っています。放牧酪農のルールは1538年に制定され、現在も基本的には当時のまま適用されていること。人口4,000人の村が観光ピーク時には、25,000人にまで増えること。手厚い所得補償制度があること。一見変化がないように見える酪農事情も、1940年代まで全世帯の半数が酪農を営んでいたものが、今では5%に激減してしまっていること。酪農家の要望は極力実現させるが、事業主としての意識を強く持ってほしいと考えていること。

このことは、山岳地帯であることと高地に位置することから、畑作には困難を伴うため草地を造成し酪農を営んできたであろうことが想像されます。

酪農家が5%まで減少した事実がありますが、その原因は観光産業の発達に伴い選択肢が増えたための転

業か、継続ができなくなったの廃業かは意見の分かれるところかと思えます。いずれにしても、手も使わないと歩くことさえできない傾斜地も草地化されており、過酷な労働であったであろうと想像でき、勤勉さと古いルールを維持するという国民性を垣間見たように思えます。

また、副村長の説明では、後継者については当面心配ないと話していました。訪問した酪農家では、手厚い所得補償で収入の半分がこの制度からのものであること。特にグリンデルワルトでは、景観を維持する意味合いにおいて、観光業の重要な位置をも兼ねていること。これに伴って行政としても重要な位置付けをしていることなどが考えられます。

酪農家2戸の印象は勤勉であり、さらに生活を楽しんでいる様子が見られます。1500年代のスイスの様子は不知ではありますが、全て手作業で成し遂げた努力と当時の決まり

を守り続ける国民性がその根底にあることが感じられました。また、当地の酪農家が原材料の供給のみならず、最終製品として付加価値を加えた後に販売できる体制であることも大きく、消費者と直結したシステムが構築されていることも大きいと思われる。

都市部においては、最低賃金保障とマイスター制度も関わっていると思われませんが、店舗の閉店時間が早いこと、日曜日は閉めていることなど、日本とは全く異なる営業形態が興味深く感じられました。

また、日本ではことあれば壊して作り変えるところ、古いものをそのまま、または改良修理して使用する姿勢も観光資源としての価値観のみにとどまらず、古いものにこそ価値があるという国民性に帰すると考えられます。

認識に誤りがあるかもしれませんが、大規模生産により短期間でコストを抑え、原材料として供給するアメリカ型農業があり、単純な見方はできないものの、一見するとゆっくりとした時間の中で伝統を守りながら、それぞれが自立できる仕組みを導入したスイス型農業のように見えました。過去のさまざまな問題乗り越えた後の仕組みは、参考となる選択肢の一つとも思い帰国しました。



人口約4,000人、グリンデルワルトの農村風景

## 6月は毎週おもしろい!

6月は第1週から第3週まで、毎週末イベントが行われます。詳しくは、折り込みチラシやホームページでご確認ください。

### 6/6(土)・14(日) 平庭高原つつじまつり

6日(土)・7日(日)  
10時～16時 (森のこだま館など)  
■ジンギスカン (500円)  
■体験コーナー ■森の宝さがし  
■クイズラリー ■ランチバイキング  
■ききワイン ■写真展 など  
園総務企画課 ☎66-2111 内線227



13日(土)・14日(日)  
10時～16時 (平庭高原スキー場など)  
■闘牛大会 ■北国の春全国大会 ■つつじの苗木プレゼント  
■内田かおる&泉ヒデ子歌謡ショー ■俳句大会 など  
園久慈市山形総合支所 ☎0194-72-2111

### 6/13(土)・14(日) 10時～16時 くずまき高原牧場まつり

■開会セレモニー 13日(土) 11時30分～  
■IBCラジオ「大塚富夫のタウン」  
13日(土) 13時～15時20分  
■今年も「すごい大道芸」がやってくる!  
■屋外ステージ (大沢桃子など多数出演)  
■羊の毛刈り体験、牛の乳しぼり体験  
■牛肉ソーセージ・アイスクリーム作り体験  
■ちびっこ宝探し、ふわふわトランポリン  
■くずまき高原牛の丸焼き・焼肉コーナー  
■三陸復興支援ブース (三陸より多数出店) など  
園くずまき交流館プラトール ☎66-0555

